

第5回 鋼構造技術継承講演会

～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～



行事コード：25713 略称：5回鋼構造技術継承

先人の多大な努力により建設・管理がなされてきた多くの鋼構造物は、社会基盤を構成する重要な構造物として、今後もその役割を担い続けていくと考えられます。近年、国交省において大規模修繕・更新補助制度が創設され老朽化対策に集中的に支援がなされるなど、既設鋼構造物の維持管理は変わらず重要な位置を占めています。一方で、道路橋示方書の大幅な改定が行われ新設鋼構造物に対して限界状態設計法や部分係数設計法が導入されるなど、新しく生まれ変わる鋼構造物の設計や建設技術のさらなる発展に向けて再び歩を進める過程に入りつつあると考えます。

本講演会では、毎回、大先輩の技術者、研究者の方々に、研究面および技術面における豊富な経験を、現役および次世代を担う技術者、研究者の方々に技術伝承するための講演をしていただいております。

第5回となる今年度は、鋼構造物に限らず、コンクリート構造物の維持管理に関する研究にも携われ、現在はNPO法人「道路の安全向上協議会」の理事でご活躍されています大田孝二氏にコンクリート床版の損傷対応や日米の損傷差と今後の床版の在り方に関するご講演を、また、首都大学東京にて鋼橋・部材の座屈・耐荷力に関する研究・教育に取り組み、現在首都大学東京の客員教授である野上邦栄氏に、鋼橋の性能設計、吊形式橋梁の長大化、新設計法の開発に向けた動向・課題などに関わるご経験を含めたご講演をそれぞれ頂く予定です。

両氏のご講演は、新設鋼構造物や既設鋼構造物が直面している数々の課題や疑問の解決に大きく役立つでしょう。参加費は無料です。奮ってご参加下さい。

なお、講演会終了後に、講演者の方々を囲む懇談会を予定しておりますので、こちらにもお気軽にご参加下さい。

- ・主 催

土木学会（担当：鋼構造委員会）

- ・日 時

2017年12月11日（月） 14：30～17：20

- ・場 所

土木学会講堂（〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）

- ・参加費

無料

- ・申込締切日

2017年11月30日（木）（申込先着順で100名まで）

- ・参加申込（講演会のみであり、懇談会は申込み制ではございません）

参加をご希望される方は、以下のサイトからお申込みをお願いいたします。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

ご登録いただきましたメールアドレス宛に開催日前までにメールにより参加券をお送りいたしますので、印刷して、当日ご持参ください。

申込後、キャンセルをされる場合は必ず参加申し込み終了前までに事務局宛にご連絡ください。ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先>

土木学会事務局研究事業課 尾崎史治

TEL : 03-3355-3559

メール : [fumiharu-ozaki "at" jsce.or.jp](mailto:fumiharu-ozaki@jsce.or.jp) “at” を@に変更してメールして下さい

・ 詳細 (プログラム)

14 : 30 ~ 14 : 35 鋼構造委員会委員長挨拶

14 : 35 ~ 15 : 50 大田孝二氏 : 「鋼橋におけるコンクリート床版の位置づけとその対応経緯」

15 : 50 ~ 16 : 00 休憩

16 : 00 ~ 17 : 15 野上邦栄氏 : 「鋼橋の性能設計の高度化に関する話題」

17 : 15 ~ 17 : 20 鋼構造委員会副委員長挨拶

懇談会 (会費制 : 4,000 円 / 人)

場 所 : 土木学会近隣

時 間 : 17 : 30 ~ 19 : 30

*本講演会は CPD 認定プログラムです (2.7 単位)